

第5期介護保険事業計画 第3回策定委員会 議事録（要旨）

【開催日時】平成23年9月7日（水） 14時00分～15時55分

【開催場所】福岡県自治会館101会議室

【出席者】（敬称略、50音順）

策定委員：小賀会長、田代副会長、太田委員、鴨川委員、木原委員、長野委員、狭間委員、
福嶋委員、藤村委員、室岡委員、山浦委員、山口委員

（欠席：因委員、庄山委員、瀬戸委員）

事務局、支部事務長

【議案】

- 1 日常生活圏域ニーズ調査の結果について
- 2 高齢者数、認定者数、事業量、給付費等の実績について

【会議資料】

- ・ 日常生活圏域ニーズ調査・高齢者等実態調査の結果概要
- ・ 高齢者数、認定者数、事業量、給付費等の実績（平成21、22年度 第4期介護保険事業計画運営状況報告の概要）

【要旨】

1. 日常生活圏域ニーズ調査の結果について [田代副会長、山浦委員]

- ・ 手段的自立度（IADL）は柳川・大木・広川支部でリスク該当者の割合が高いが、交通が不便等の環境障害も要因としてあるのではないかと考えられる。地域によってサービスのニーズは異なると思われるため、今後調査する際に調べてほしい。
- ・ 田川・桂川支部は手段的自立度、知的能動性、社会的役割、老研指標総合評価の4項目中3項目でリスクが高く、地域によってリスク該当者の割合に差がある。本人や家族・施設側の意識等の要因もあると思うので、その意識を変えていく必要がある。

2. 二次予防事業の訪問型サービスの充実について [田代副会長、山浦委員]

- ・ 二次予防事業未参加者には集団が苦手という方も非常に多く、無理に参加させることは逆効果である。通所型と訪問型の両方が必要であるが、訪問型の実施状況は市町村で差があるため充実をお願いする。
- ・ 配食サービス等の外出が難しい非認定者に対する支援については、ボランティアを活用すべきである。
- ・ 高齢者は不安を聞いてくれたり、相談できる人を望んでいる。訪問して相談相手となるような事業も必要である。

3. 地域密着型サービスの事業所展開について [小賀会長]

- ・ 地域のニーズに関わりなく事業所展開が行われていて、それによってサービスの選択が左右されているのであれば、地域の実情に相応しいサービス展開になるよう事業所を誘導していく必要がある。

4. 情報提供について [室岡委員]

- ・ 民生委員から介護保険制度の利用方法等について地域の方に情報提供していく体制づくりをお願いしたい。

5. その他

- ・ 介護療養型医療施設の、医療の療養病床へ転換した件数を教えてほしい。[室岡委員]
- ・ 地域や家族の繋がりが薄く、日頃の見守りやちょっとした役所の手続き等で困っている方がいる。[山口委員]